

MC93XX

モバイル コンピュータ



クイック スタート ガイド



ZEBRA

著作権

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2020 Zebra Technologies Corporation および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

著作権および商標：著作権と商標情報の詳細については、www.zebra.com/copyright でご確認ください。

保証：保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約：EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

- 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれていないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies では、このような誤りが発見された場合にそれを修正し、その誤りから生じる責任を放棄する権利を有しています。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。法域によっては、付随的損害または派生的損害に関する責任の除外または限定を認めていない場合があります。その場合、お客様には上記の限定または除外は適用されません。

保証

Zebra の完全なハードウェア製品の保証については、サイト (www.zebra.com/warranty) にアクセスしてください。

サービスに関する情報

本機器を使用する前に、お客様のネットワーク環境で運用するための設定、およびお使いのアプリケーションを実行するための設定を行ってください。

本機器の稼働中または他の機器の使用中に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、Zebra グローバル カスタマー サポート (www.zebra.com/support) に問い合わせます。

このガイドの最新版は、www.zebra.com/support から入手可能です。

マニュアルに関するフィードバック

このガイドについてのご意見、ご質問またはご提案がある場合は、EVM-Techdocs@zebra.com まで電子メールにてご連絡ください。

構成

このガイドで言及している MC93XX は、スキャン トリガ搭載の MC93XX-G モバイル コンピュータを指しています。このガイドは、次のモデル番号に適用されます: MC930B、MC930P

パッケージの開梱

デバイスを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次の同梱品がパッケージに入っていることを確認します。

- デバイス
- リチウム イオン バッテリ
- 規制ガイド

機器に破損がないか確認してください。不足または破損している機器がある場合は、ただちに Zebra サポート センターにお問い合わせください。

デバイスの機能

図 1 MC93XX 正面図

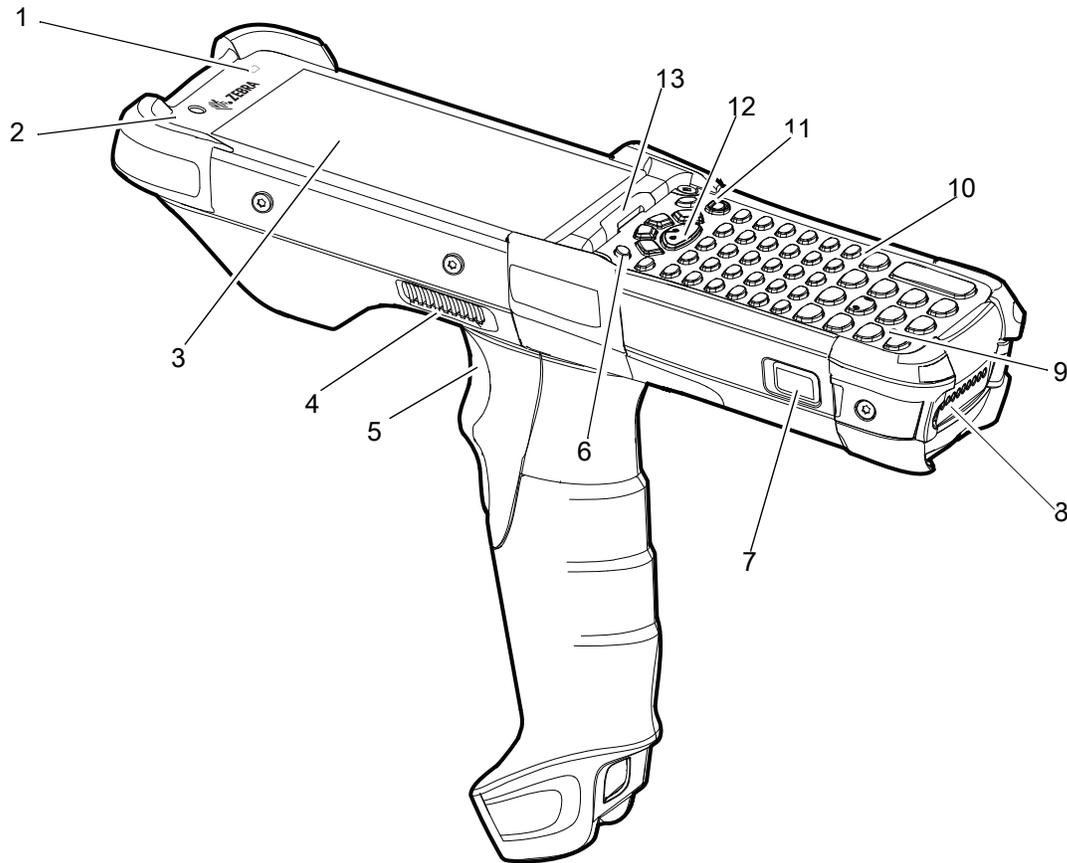


表 1 MC93XX の機能 - 正面図

番号	項目	機能
1	周辺光センサ	ディスプレイとキーボードのバックライトを制御します。
2	前面カメラ	写真およびビデオの撮影に使用します。 注：前面カメラは Premium 構成のみで利用できます。
3	ディスプレイ	デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。
4	スピーカ サイドポート	ビデオや音楽の再生音を出力します。
5	トリガ	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
6	P1 - 専用 PTT キー	プッシュトゥトーク通信を開始します (プログラム可能)。
7	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。 注：バッテリーを取り外すには、デバイスの両側にあるバッテリー リリース ラッチを同時に押します。

表 1 MC93XX の機能 - 正面図 (続き)

番号	項目	機能
8	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
9	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。
10	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
11	電源ボタン	長押しして、デバイスの電源をオンにします。押し続けて画面をオンまたはオフにします。ボタンを押し続けて、次のオプションから 1 つを選択します。 [Power off] (電源オフ) - デバイスの電源をオフにします。 [Restart] (再起動) - ソフトウェアが応答を停止した場合に、デバイスを再起動します。
12	中央のスキャンボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
13	充電器/デコードステータス LED	充電中のバッテリー充電ステータス、アプリ生成通知、およびデータ収集ステータスを示します。

図 2 MC93XX 背面図

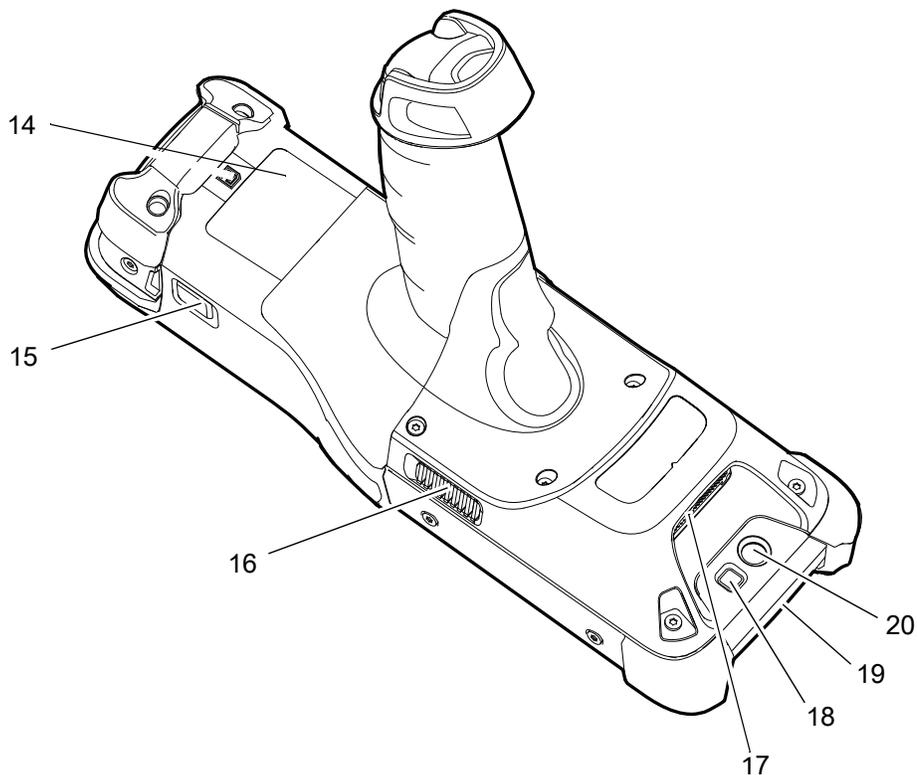


表 2 MC93XX の機能 - 背面図

番号	項目	機能
14	パッシブ NFC タグ (バッテリー収納部の内側。)	読み取り可能な製品ラベルが擦り切れたりはがれたりした場合に備えて、2つ目の製品ラベルで情報 (構成、シリアル番号、製造データコード) を提供します。
15	バッテリーリリースラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
16	サイドスピーカーポート	ビデオや音楽の再生音を出力します。
17	スキャナ ウィンドウ	スキャナ/イメージャを使用したデータ収集に使用します。
18	カメラ フラッシュ	カメラの照明として使用します。 注: カメラは一部の構成のみで利用できます。
19	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。 注: NFC アンテナは Premium 構成のみで利用できます。
20	背面カメラ	写真やビデオを撮影します。 注: 背面カメラは Premium 構成のみで利用できます。

セットアップ

デバイスを初めて使用する際には、次のことを行います。

- microSD カードの取り付け (オプション)
- バッテリーの取り付け
- デバイスの充電
- デバイスの電源をオンにする。

microSD カードの取り付け

microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはキーパッド モジュールの下にあります。カードに添付されているマニュアルで詳細を確認し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。使用する前に、デバイスの microSD カードをフォーマットすることを強くお勧めします。



注: microSDカードの情報は、MC93XX Mobile Computer User Guide.

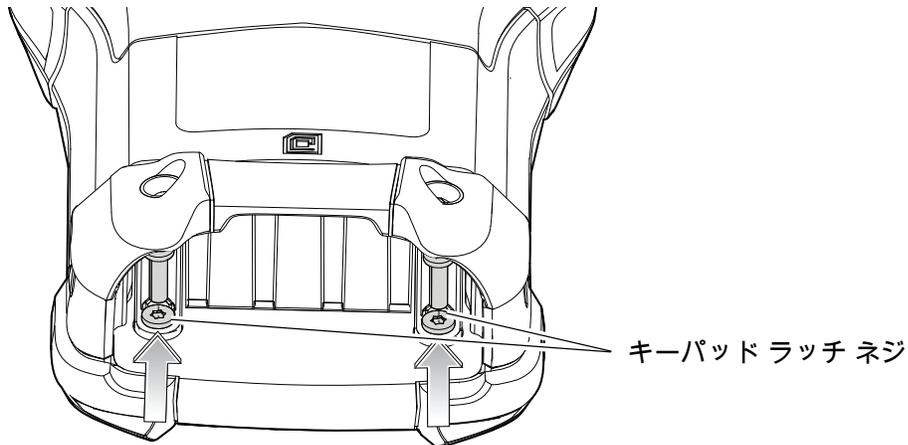


注意: microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

1. デバイスの電源をオフにします。
2. バッテリーを取り外します。

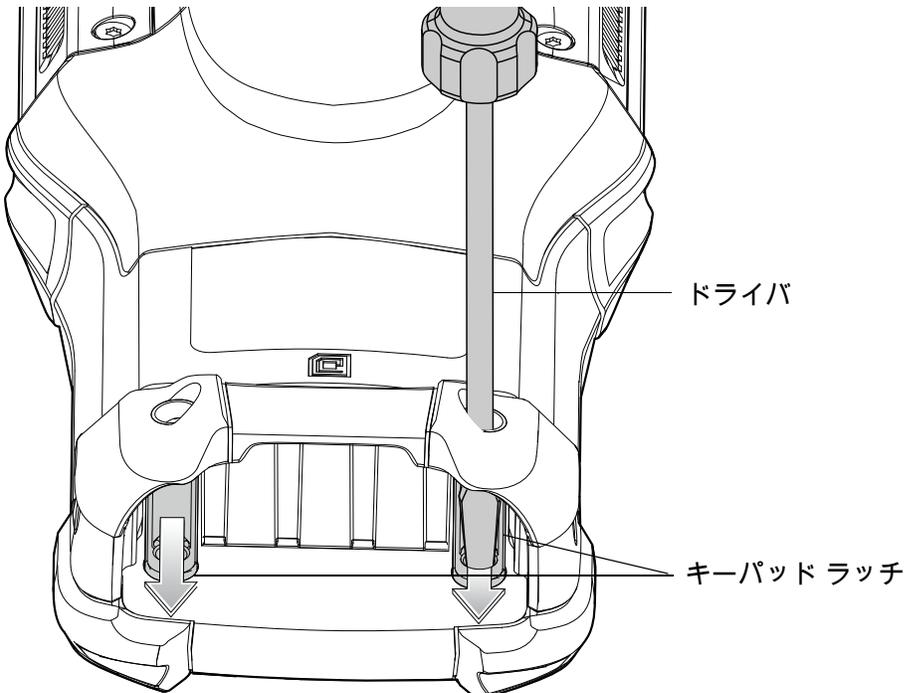
3. 大きなグリップが付いたトルクス T8 ドライバを使用して、バッテリー スロットの内側から 2 本のキーパッド ラッチ ネジを外します。

図 3 キーパッド ラッチ ネジを外す



4. キーパッド ラッチをデバイスの底面に向かってスライドさせます。

図 4 キーパッド ラッチを外す

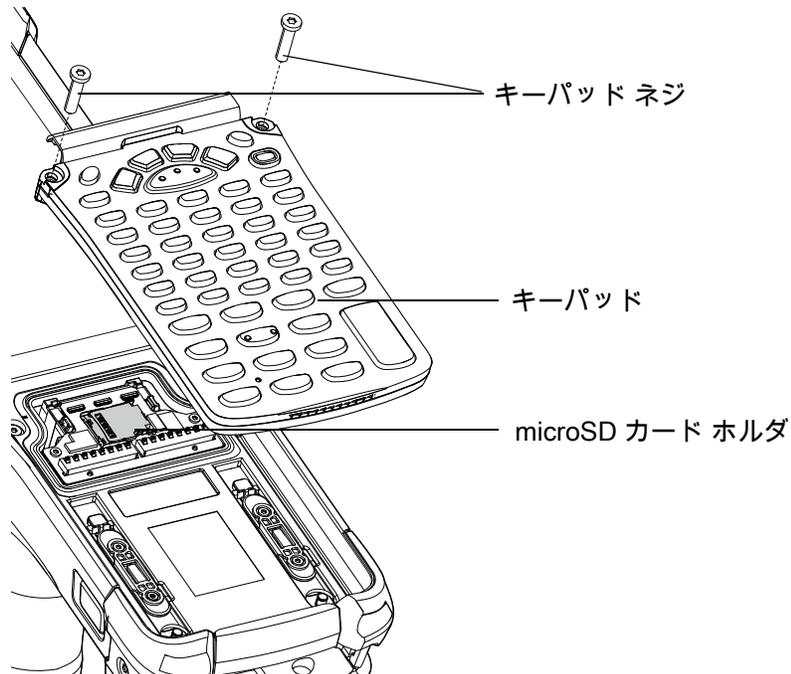


注: キーパッド ラッチが動きにくい場合は、ドライバを使用してデバイスの底部に向けてゆっくりとスライドさせます。

5. キーパッドが見えるようにデバイスを裏返します。

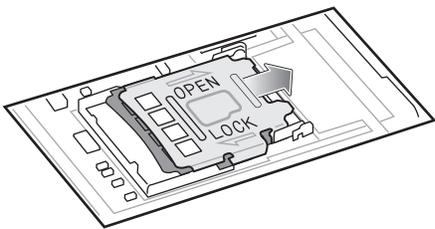
6. 大きなグリップが付いたトルクス T8 ドライバを使用して、キーパッドの上部から 2 本のキーパッド アセンブリ ネジを外します。

図 5 キーパッドを取り外す



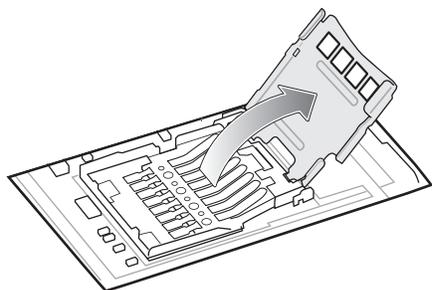
7. キーパッドをデバイスから取り外します。
8. microSD カード ホルダをスライドさせて開きます。

図 6 microSD カード ホルダを開く



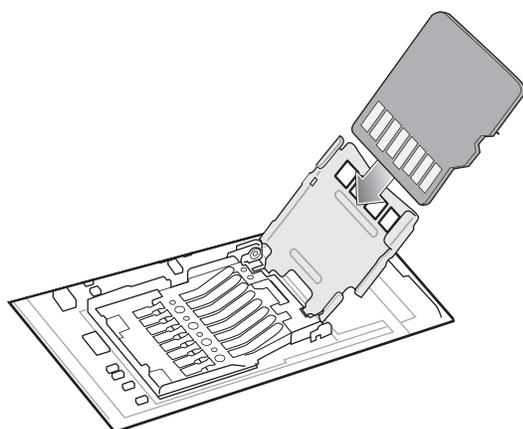
9. microSD カード ホルダを持ち上げます。

図 7 microSD カード ホルダを持ち上げる



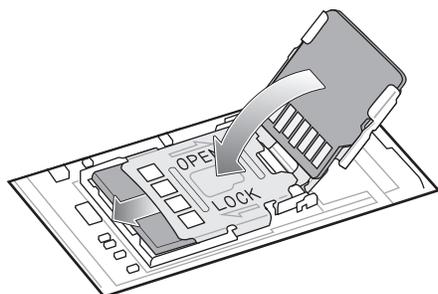
10. microSD カードをカード ホルダ ドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせて挿入します。

図 8 microSD カードをホルダに挿入する



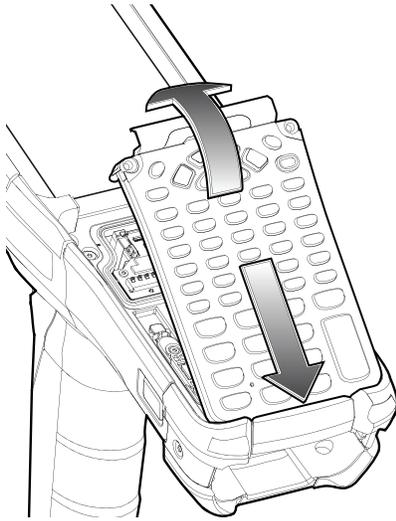
11. microSD カード ホルダ ドアを閉じ、スライドさせてロックします。

図 9 ホルダの microSD カードを閉じてロックする



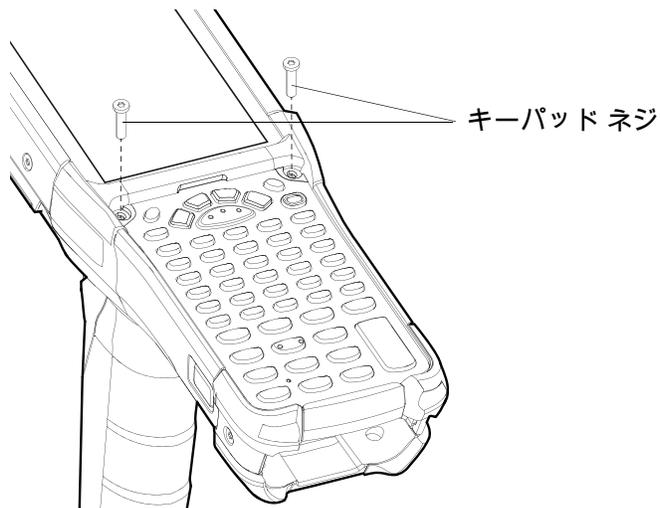
12. デバイスの端の突き出た部分にキーパッドを合わせて、本体にはめ込みます。

図 10 キーパッドを再び取り付ける



13. 大きなグリップと長いシャフトでできているトルクス T8 ドライバを使用して、2 本のネジでキーパッドをデバイスに固定します。5.8kgf-cm (5.0lbf-in) でネジを締めます。

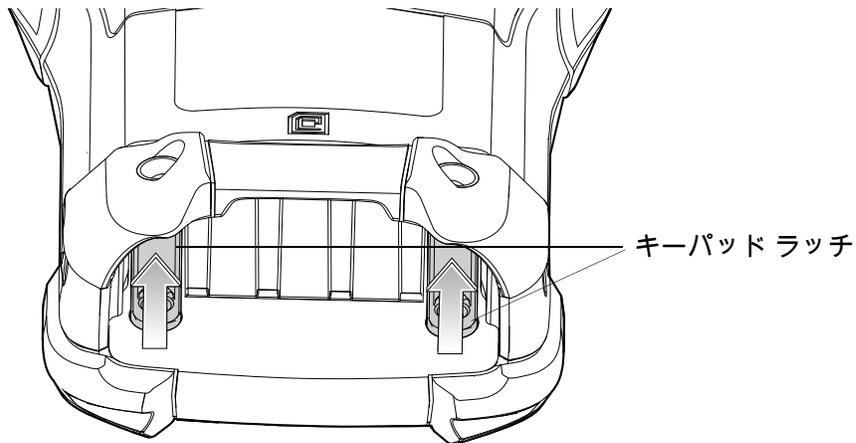
図 11 キーパッド ネジを再び取り付ける



14. キーパッド ラッチが見えるようにデバイスを裏返します。

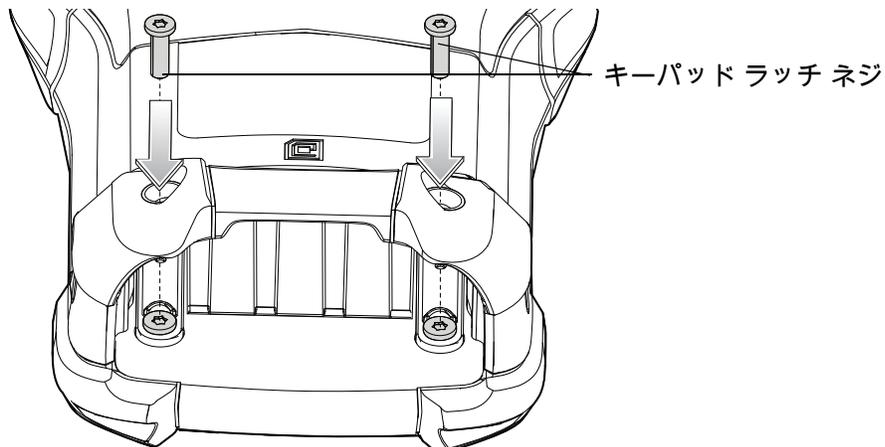
15. 両方のキーパッド ラッチをデバイスの上に向けてスライドさせます。

図 12 キーパッド ラッチをスライドさせる



16. バッテリ スロット内に 2 本のキーパッド ラッチ ネジを入れて、トルクス T8 ドライバを使用して 5.8kgf-cm (5.0lbf-in) のトルクで締めます。

図 13 キーパッド ラッチ ネジを再び取り付ける



17. バッテリを挿入します。

18. 電源キーを長押しして、デバイスの電源をオンにします。

バッテリーの取り付け

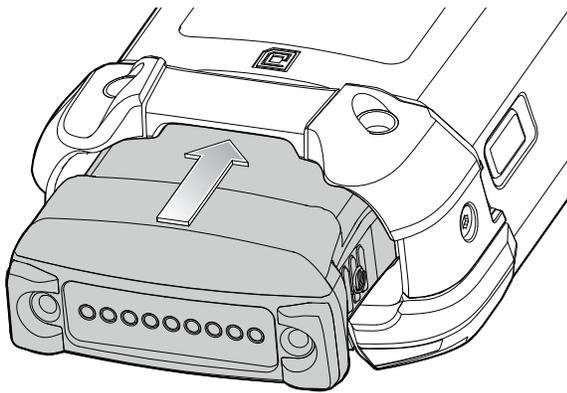
MC93XX では、以下のバッテリーと互換性があります。

- 7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー
- 5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリー
- 7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリー

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

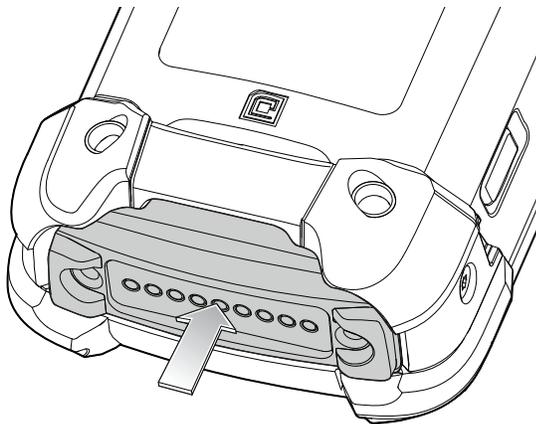
1. バッテリーをバッテリー スロットに合わせます。

図 14 バッテリーの取り付け



2. バッテリーをバッテリー スロットに挿入します。
3. バッテリーをバッテリー受けにしっかりと押し込みます。デバイスの側面にある両方のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。カチツという音が聞こえた場合、デバイスの側面にある両方のバッテリー リリース ボタンが定位置に戻ってバッテリーが固定されたことがわかります。

図 15 バッテリーを押し込む



4. 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

デバイスの充電

バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 3 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信
		バッテリー (デバイス内)	予備バ ッテリー	USB
1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)	CRD-MC93-2SUCHG-01	○	○	○
4 スロット充電専用 ShareCradle	CRD-MC93-4SCHG-01	○	×	×
4 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC93-4SCHG-01	×	○	×
16 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC93-16SCHG-01	×	○	×
USB 充電/通信スナップオン カップ 注：急速充電をサポートするには、別 の USB ケーブルおよび電源が必要で す。スナップオンから PC/ラップトッ プへの通信を行うには、USB (Type-C) ケーブルが必要です。	CBL-MC93-USBCHG-01	○	×	○
充電専用アダプタ	ADP-MC93-CRDCUP-01	○	NA	×

メイン バッテリーの充電

メイン バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. デバイスをクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。

デバイスの充電が自動的に開始されます。充電 LED インジケータが、バッテリーの充電の状態を示します。充電インジケータについては、次の表を参照してください。

表 4 LED 充電インジケータ

ステータス	意味
消灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが充電されません。 • デバイスが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。 • クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 3 秒ごと	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーは充電中ですが、完全に空になっており、まだデバイスを使用するには十分な充電がされていません。 • バッテリーを取り外した後、デバイスはホット スワップ モードになり、接続の持続性が保たれていることがわかります。 <p>注：十分な接続とメモリ セッションの持続性を保つために、SuperCap のフル充電には最低 15 分かかります。</p>
黄色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーを充電中です。

表 4 LED 充電インジケータ (続き)

ステータス	意味
緑色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。例： <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリを充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 • 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。

7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリーは、Zebra アクセサリを使用して、室温で 3.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。

5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリーは、Zebra アクセサリを使用して、室温で 2.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。

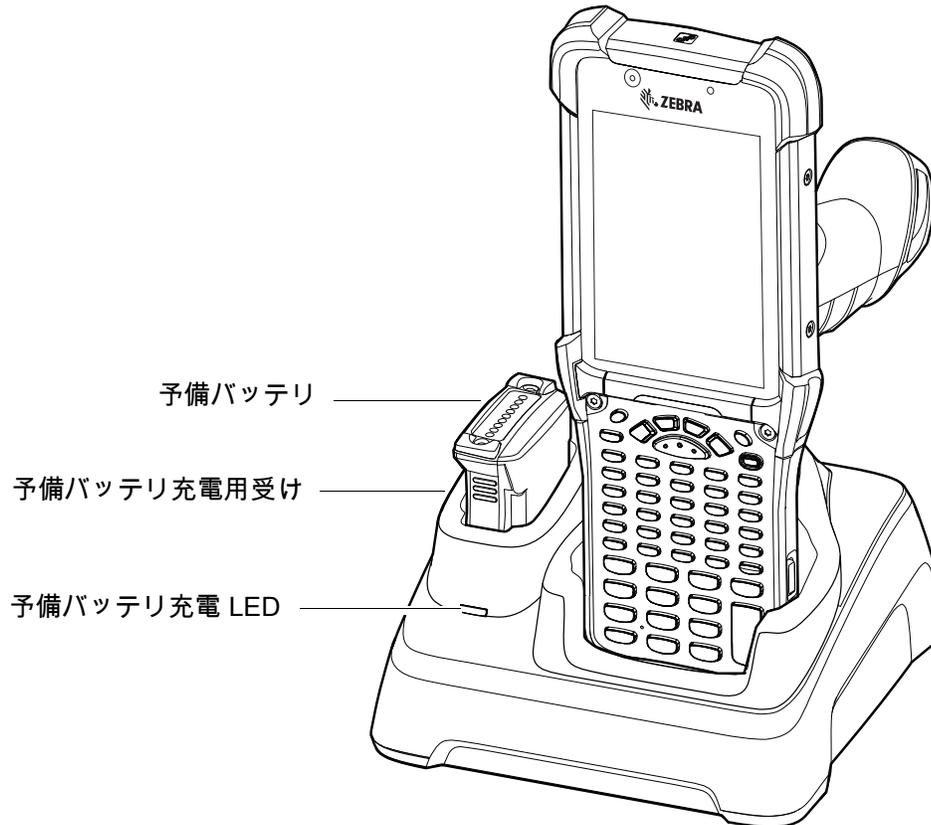
7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリーは、Zebra アクセサリを使用して、室温で 3.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。本デバイスまたはクレードルでは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。約 37°C 以上 (98°F 以上) など、高温時には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

予備バッテリーの充電

1. クレードルが電源に接続されていることを確認します。
2. ピン端子に接触するように、小さい方を先にして予備バッテリーを充電用受けに挿入します。

図 16 予備バッテリーの充電



3. 正しく接触するように、ゆっくりと押し下げます。

1 スロット USB 充電クレードルでは、MC93XX のメイン バッテリーと予備バッテリーを同時に充電します。

MC93XX の充電 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。充電の状態の表示については、「LED 充電インジケータ」を参照してください。

表 5 LED 充電インジケータ

ステータス	意味
消灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが充電されません。 • デバイスが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。 • クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 3 秒ごと	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーは充電中ですが、完全に空になっており、まだデバイスを使用するには十分な充電がされていません。
黄色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーを充電中です。

表 5 LED 充電インジケータ (続き)

ステータス	意味
緑色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。例: <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーを充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 • 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。

7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリーは、Zebra アクセサリを使用して、室温で 3.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。

5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリーは、Zebra アクセサリを使用して、室温で 2.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。

7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリーは、Zebra アクセサリを使用して、室温で 3.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。

クレードル前面の予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電の状態を示します。次の表で、充電インジケータの意味を説明します。

表 6 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	意味
消灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが充電されません。 • バッテリーがクレードルに正しく挿入されていません。 • クレードルに電源が供給されていません。
黄色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーを充電中です。
緑色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。例: <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーを充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 • 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。

1. 充電が完了したら、バッテリーをスロットから取り出します。

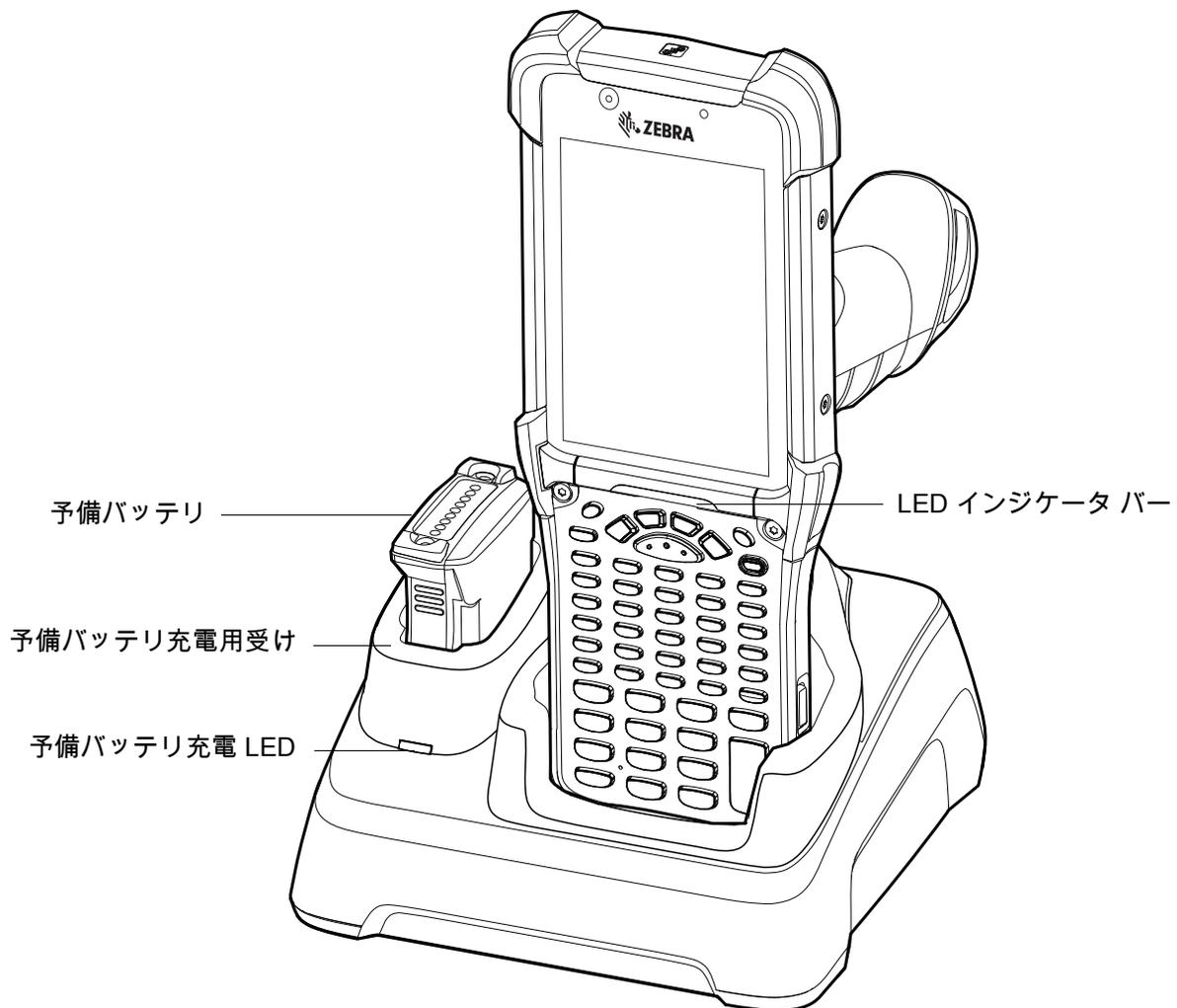
バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。本デバイスまたはクレードルでは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。約 37°C 以上 (98°F 以上) など、高温時には、デバイスまたはクレードルは、バッテリーの充電を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスおよびクレードルの LED に表示されます。

1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)

予備バッテリー付き 1 スロット USB 充電クレードル:

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータの間、またはその他の USB デバイス (プリンタなど) の間のデータ通信用に USB ポートを提供する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータの間で情報を同期する。カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、モバイル コンピュータと会社のデータベースを同期することも可能です。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - 7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー
 - 5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリー
 - 7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリー

図 17 1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)

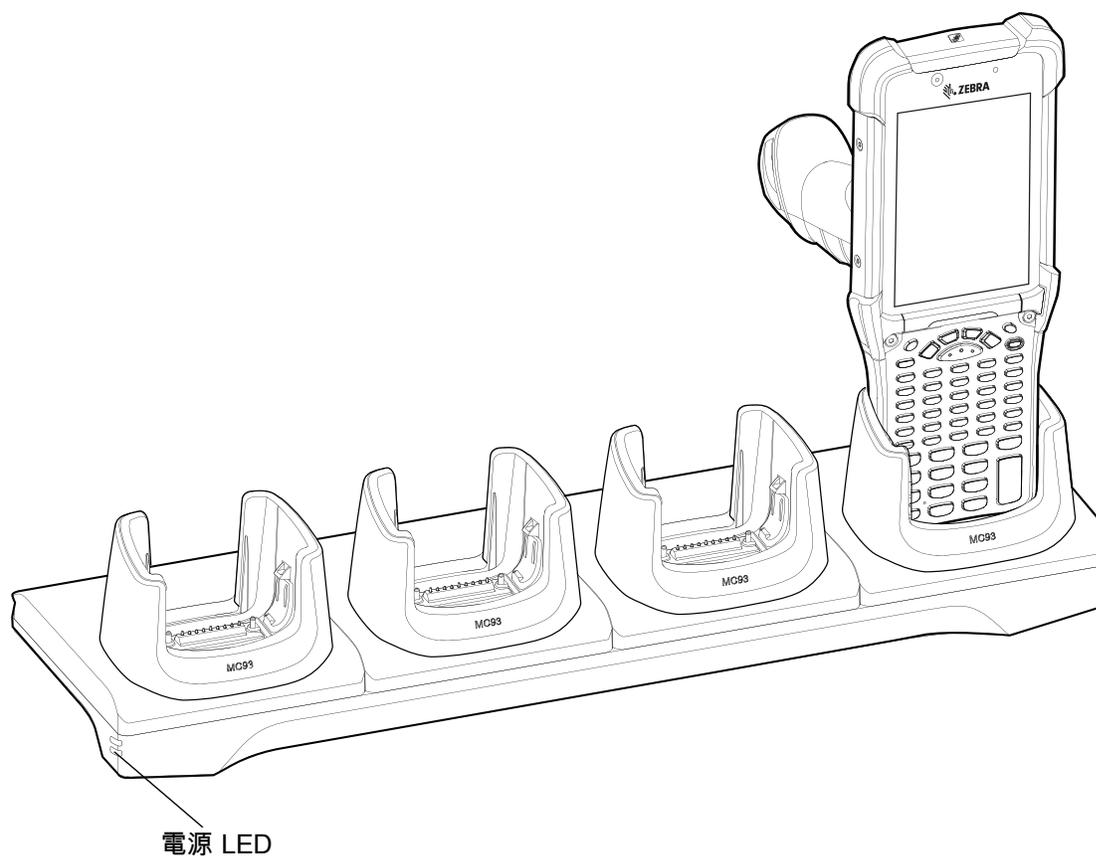


4 スロット充電専用 ShareCradle

4 スロット充電専用 ShareCradle には、次のような機能があります。

- モバイルコンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9V の DC 電力を供給する。
- 最大 4 台のモバイルコンピュータを同時に充電する。
- 以下のバッテリーを使用するデバイスと互換性があります。
 - 7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー
 - 5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリー
 - 7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリー

図 18 4 スロット充電専用 ShareCradle

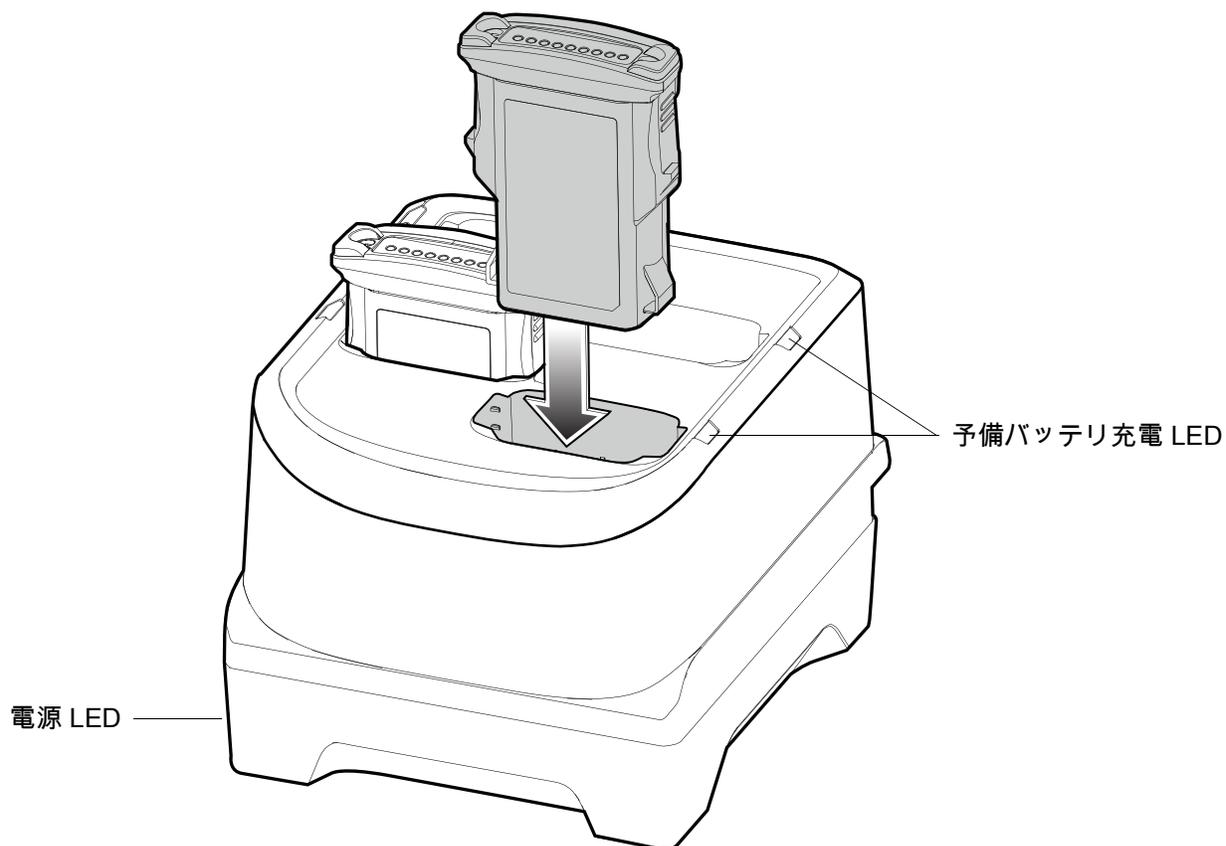


4 スロット予備バッテリー充電器

4 スロット予備バッテリー充電器:

- 最大 4 個の予備バッテリーを充電します。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - 7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー
 - 5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリー
 - 7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリー

図 19 4 スロット予備バッテリー充電器

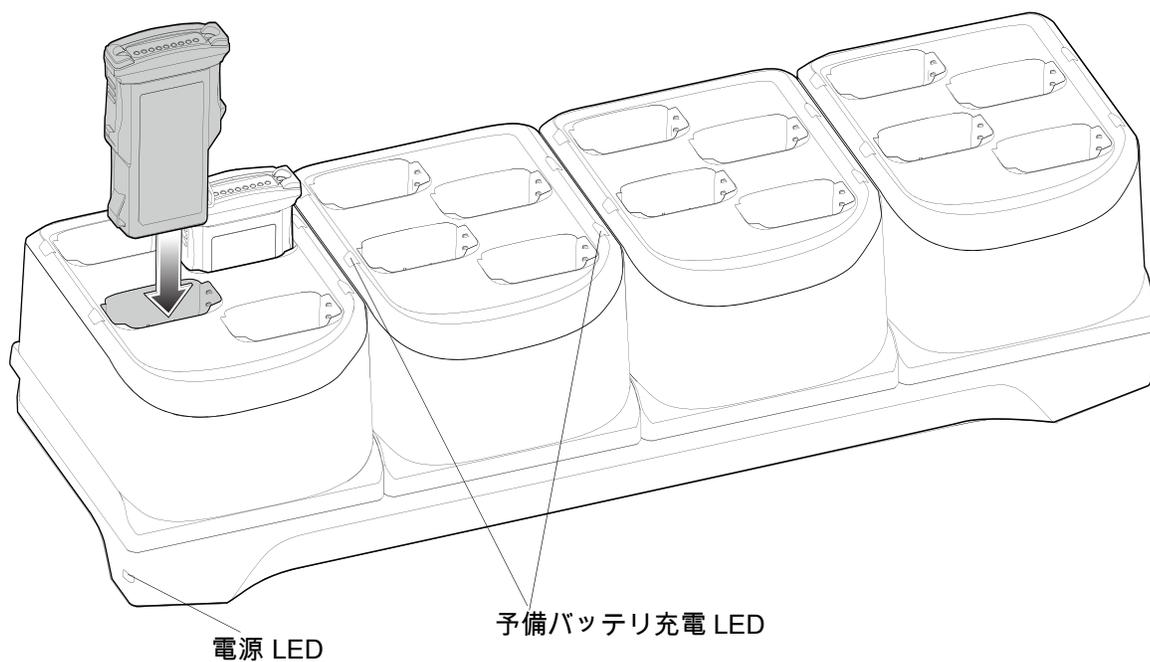


16 スロット予備バッテリー充電器

16 スロット予備バッテリー充電器:

- 最大 16 個の予備バッテリーを充電します。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - 7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー
 - 5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリー
 - 7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリー

図 20 16 スロット予備バッテリー充電器



USB 充電/通信スナップオン カップ

USB 充電/通信スナップオン カップ:

- デバイスの動作およびバッテリーの充電用に 5V の DC 電力を供給します。
- ホスト コンピュータと USB 経由でデバイスへの電源供給および/または通信を行う。
- 以下のバッテリーを使用するデバイスと互換性があります。
 - 7000mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー
 - 5000mAh PowerPrecision+ フリーザー バッテリー
 - 7000mAh PowerPrecision+ 防爆バッテリー

図 21 USB 充電/通信スナップオン カップ



MC93XX 充電専用アダプタ

MC9XXX クレードルと MC93XX モバイル コンピュータとの下位互換性を保つには、この充電専用アダプタを使用してください。

- 充電専用アダプタは、MC9XXX 1 スロット クレードルおよび 4 スロット クレードルの端末充電のみをサポートします。
- 充電専用アダプタは充電のみをサポートします。MC9XXX クレードルとともに使用する際に通信は行えません。

図 22 MC9X 1 スロット クレードル充電専用アダプタ

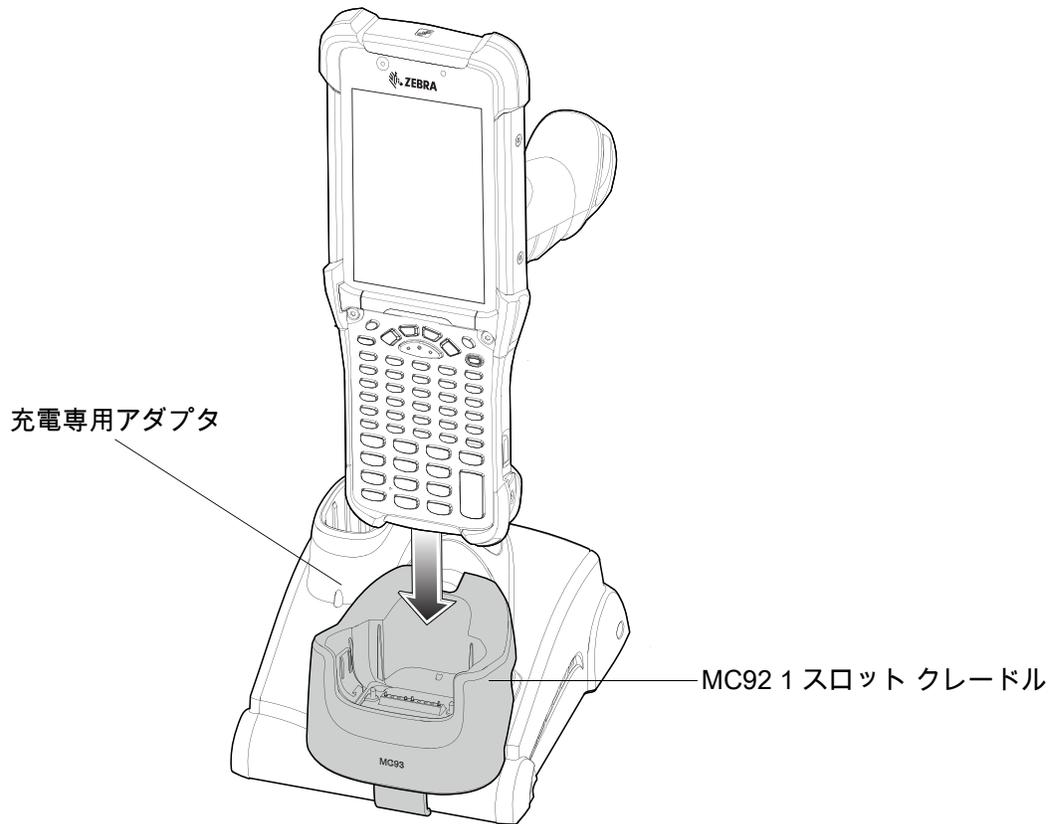
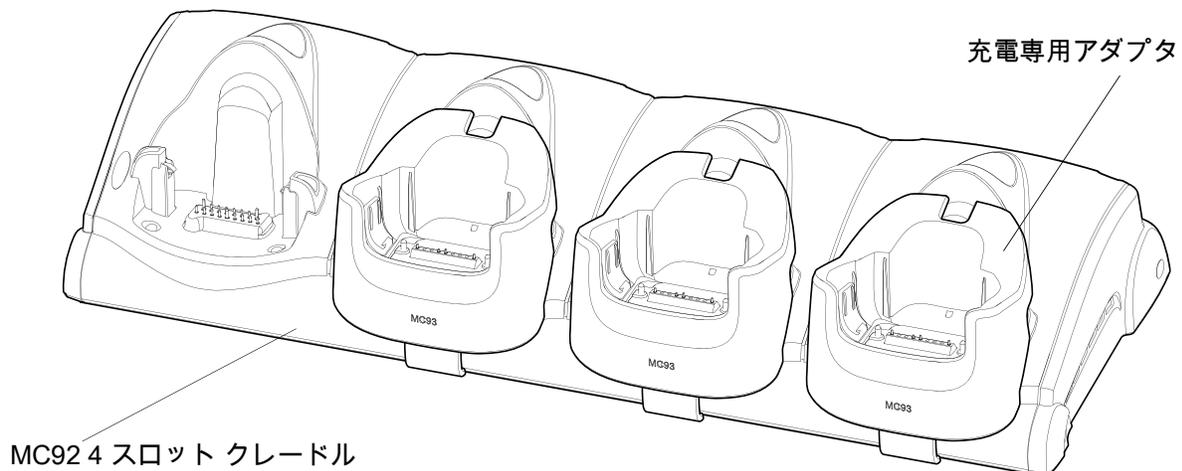


図 23 MC9X 4 スロット クレードル充電専用アダプタ

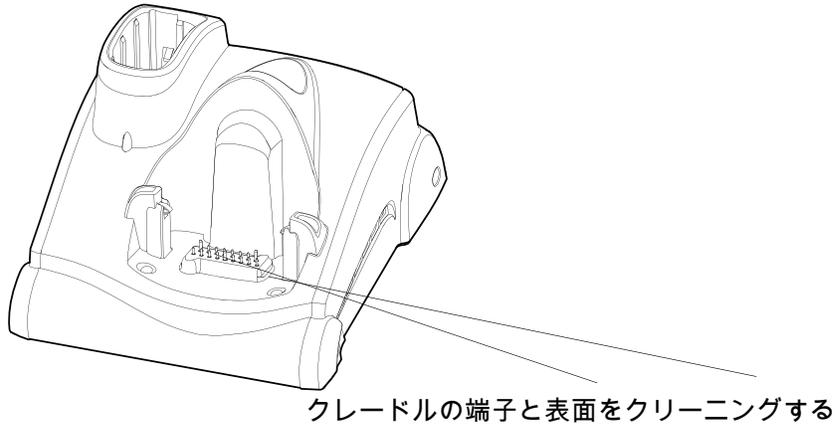


充電専用アダプタの取り付け

充電専用アダプタを取り付けるには、次の手順に従います。

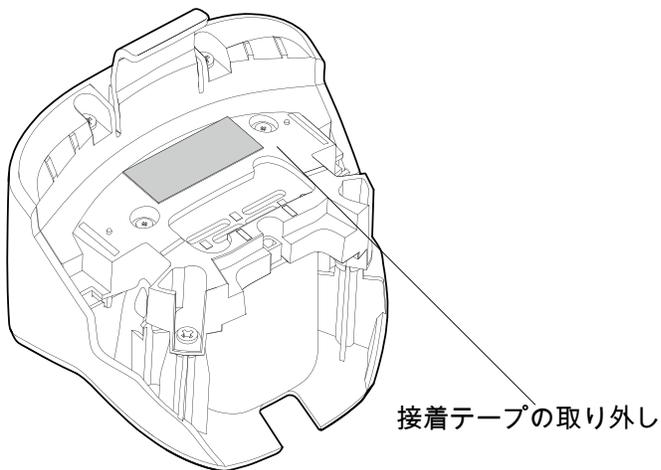
1. アルコール ウェット ティッシュを指で前後に動かして、指定どおりに MC9XXX クレードルと端子の表面をクリーニングします。
クリーニングの詳細については、『MC93XX Mobile Computer User Guide』を参照してください。

図 24 MC9XXX クレードルの端子と表面をクリーニングする



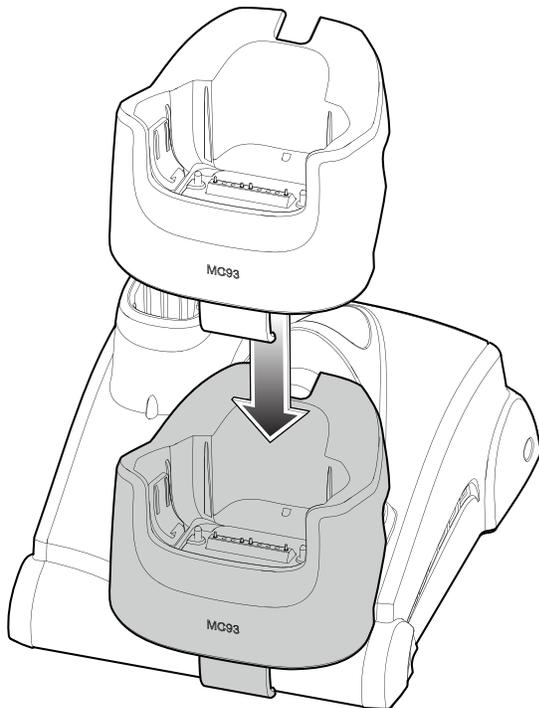
2. アダプタの背面から接着テープをはがして取り外します。

図 25 接着テープの取り外し



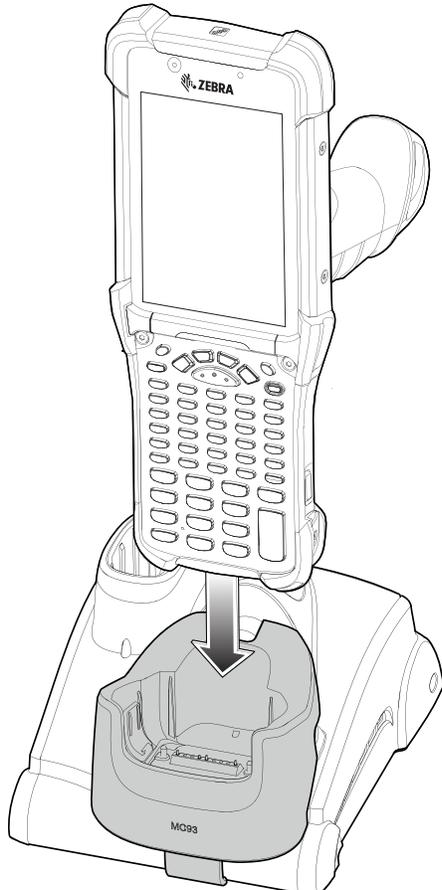
3. アダプタを MC9XXX クレードルに入れ、クレードルの下部に装着します。

図 26 クレードルにアダプタを装着する



4. クレードルにデバイスを装着します。

図 27 クレードルにデバイスを装着する



スキャン

MC93XX では、以下の方法でデータを読み取ることができます。

- SE4750-SR 1D/2D イメージャ
- SE4850-ER 1D/2D イメージャ
- SE965 1D レーザー スキャナ

スキャン オプションの詳細については、『MC93XX Mobile Computer User Guide』を参照してください。

イメージャによるバーコード キャプチャ

バーコード データを読み取るには、次の手順に従います。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの先端をバーコードの方に向けます。
3. スキャン ボタンまたはトリガを押し続けます。
照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。
4. 照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

スキャン LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。デバイスがピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまでデバイスはバーコードを読み取りません。

図 28 照準パターン: 基準範囲および基準範囲外

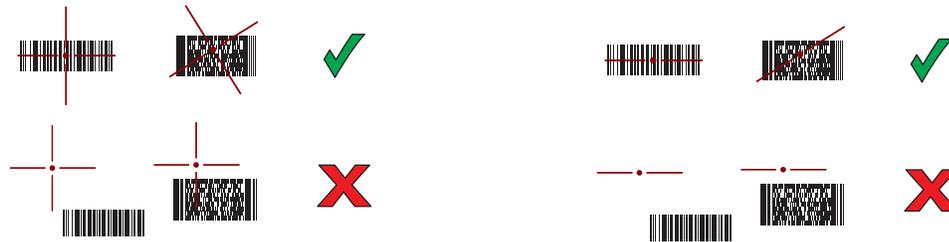


図 29 ピック リスト モード (複数のバーコードが照準パターン内にある場合): 基準範囲および基準範囲外



5. スキャン ボタンまたはトリガを放します。
6. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

レーザー スキャナによるバーコード キャプチャ

バーコード データを読み取るには、次の手順に従います。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの先端をバーコードの方に向けます。
3. スキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。
4. スキャン ボタンまたはトリガを押し続けます。

照準を合わせるための赤色のスキャン ラインがオンになります。スキャン ラインがバーコードのすべてのバーとスペースを横切るようにします。

スキャン LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

図 30 レーザー スキャナの照準パターン



5. スキャン ボタンまたはトリガを放します。

読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

人間工学に関する考慮事項

作業時は適度な休憩を取ることを推奨します。

負担がかからない姿勢

図 31 負担がかからない直立姿勢



左右の手を交互に使用してください。

スキャン時に負担がかからない姿勢

図 32 低い位置と高い位置のスキャン



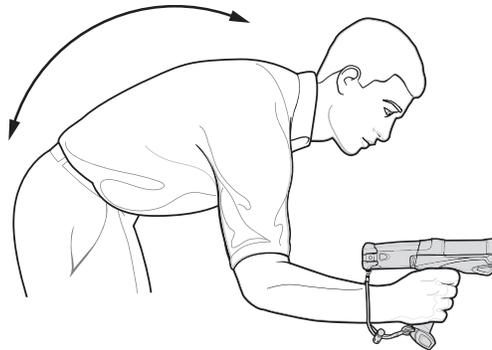
左右の膝を交互に使用してください。



ハシゴを使用してください。

非推奨：手を伸ばす、背中を丸める

図 33 非推奨：手を伸ばす、背中を丸める



手首を極端に曲げないでください

図 34 手首を極端に曲げないでください

